





平成28年12月15日

各 位

会社名株式会社34代表者名代表取締役社長石田満

(JASDAQ・コード3075)

問合せ先 代表取締役社長 石 田 満 電 話 0 4 3 - 3 5 0 - 1 2 6 6

第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年6月28日に公表した平成29年5月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が 生じましたのでお知らせいたします。通期の業績予想についても修正いたします。

記

 平成29年5月期 第2四半期累計期間における業績予想の修正 (平成28年5月16日~平成28年11月15日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	9, 820	460	488	280	102円67銭
今回修正予想(B)	9, 387	289	313	182	66円99銭
増減額(B-A)	△432	△170	△174	△97	-
増減率(%)	△4.4%	△37.0%	△35.8%	△34.8%	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	9, 648	423	449	273	94円81銭

 平成29年5月期 通期業績予想の修正 (平成28年5月16日~平成29年5月15日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	20, 450	950	997	545	200円05銭
今回修正予想(B)	19, 273	568	611	331	121円40銭
増減額(B-A)	△1, 176	△381	△385	△214	_
増減率(%)	△5.8%	△40.1%	△38. 7%	△39. 3%	-
(ご参考)前期実績 (平成28年5月期)	19, 730	910	974	513	182円96銭

3. 修正の理由

売上高については、消費者の強い節約志向に対して、イベントメニューをはじめとした「お得感」を重視した価格政策を進めてまいりましたが、来店客数増に十分な効果がないまま推移したことに加えて、相次ぐ台風と天候不順の影響により、当第2四半期累計期間(平成28年5月16日~平成28年11月15日)における既存店売上高(注2)が当初見込みを下回ったこと、また、新規出店についても当初計画の3店舗に対し2店舗に留まったことから、前回発表予想の9,820百万円を432百万円下回る9,387百万円となりました。

利益面についても、売上高の減少に加え、食材全般の不足感による原材料価格の高騰や、労働需給の逼迫に伴う人件費の増加などが影響し、営業利益及び経常利益ともに前回予想を下回る結果となり、四半期純利益は前回発表予想の280百万円に対して182百万円となり差異が生じました。

今後も引き続き既存店売上高は厳しい状況が見込まれること、原材料価格の高止まりや人件費の増加に加えて、社会保険適用拡大による法定福利費の増加等の利益押し下げ要因の増大が見込まれます。また、店舗勤務者の人手不足については大変逼迫してきており、期初に予定していた通期8店舗の新規出店が3店舗に留まる見通しであること等から、通期の業績予想についても修正いたします。

- (注1) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (注2) 当社において既存店売上高は、開店の日を含む月から13カ月以上経過した店舗を既存店として算出しております。なお、改装等による休業日がある場合、当該日を含む月は除外して算出しております。

以上